



10月号 保健だより

平成29年10月
愛媛県立大洲高等学校

マイコプラズマ感染症

★マイコプラズマ感染症とは★

マイコプラズマ感染症は、肺炎マイコプラズマという病原体によって起こる感染症です。小中学生に多い病気ですが、高校生や成人でも感染・発症します。

★マイコプラズマ感染症の症状★

最初は、発熱、頭痛、全身のだるさなどがあり、発熱後数日してから咳が出てきてだんだん強くなっていきます。高熱が続くこともあります。熱が上がったり下がったりを繰り返すこともあります。咳の症状は、熱が下がってからも3～4週間続く場合があります。



風邪の症状によく似ていますが、風邪のときに一般的に処方される抗生物質では効果がありません。

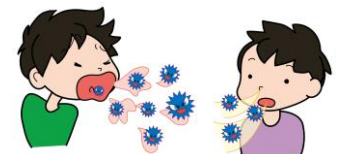
★潜伏期間とうつる（うつす）期間★

潜伏期間（感染してから症状が出るまでの期間）は、2～3週間、場合によっては1か月ということがあります。初めて症状が出た日の2～8日前から、だ液や鼻水などと一緒に病原体が排出されているため、本人に自覚症状がない潜伏期間の時期から、周囲の人にうつす可能性があります。感染力は、症状がある期間がピークですが、その後も数週間は病原体の排出が続く場合があります。

病原体の感染力自体はあまり強くありませんが、周囲の人にうつす可能性がある期間が長いために、身近な人に感染を広げる可能性があります。

★感染経路★

インフルエンザや風邪などの感染経路と同じで、感染者の咳やくしゃみに含まれる病原体によって感染する「飛沫感染」と、病原体を触った手で口や鼻を触ることによって感染する「接触感染」があります。



★予防方法（感染しないために、感染させないために）★

インフルエンザや風邪など、一般的な感染症の予防方法と同じです。

- 手洗いとうがいをする。
- マスクをする。
- 部屋の換気をする。
- 睡眠と栄養で免疫力を高める。



★どんなときにマイコプラズマ感染症を疑うか★

- 身近な人がマイコプラズマ感染症にかかった後、咳が出るようになった場合
- 激しい咳が長く続く場合
- 風邪薬を飲んでも、高熱や咳などの症状がよくなる場合

※ このような場合には、速やかに医療機関を受診してください。また、身近にマイコプラズマ感染症にかかった人がいる場合は、医療機関を受診した際に、そのことを伝えてください。